

2023年度 事業計画（案）

- 1) 支承の性能向上を図ると共に条件に合った標準化を推進し、市場ニーズに対応可能な支承の開発を進める。
- 2) 災害復旧に即時即応可能な支承構造の開発に努める。
- 3) 維持・補修の簡便な支承の研究開発に努める。
- 4) 「支承の若返り工法」の品質や機能の向上を図り、当工法の普及拡大を図る。
- 5) 支承技術に関する広報活動を積極的に展開し協会の社会的認知を高めるよう努める。
- 6) 支承等の点検・維持・補修の保全技術の統一化を図り、関係者育成のための講習会等をネット配信で実施する。
- 7) 伸縮継手の耐久性、漏水防止、防音性能、補修方法等の開発を推進し、環境保全への貢献を図る。
- 8) 新技術（インテリジェント支承、支承部品落下防止対策）の開発ならびに浸透を図り継続可能な事業を目指す。…50万円
- 9) 新規会員の加入を計るため、入会基準等を見直し協会の運営基盤の安定化を図る。
- 10) 協会と会員会社間の関係をより密にするために「会報」を年2回発刊する。
（従来の「かなめ」以外に・・・50万円）
- 11) 橋梁調査会、道路協会、土木学会、土木研究所、建設コンサルタンツ協会、寒地土木研究所、NEXCO、都市高速会社、ゴム支承協会との関係を緊密にし、共同研究等により技術の向上を図る。
また、各委員会も積極的に関与し、情報の取得に努める。
- 12) 会議開催については、①三密を避けて実施。②Web開催を推進。
- 13) 協会OBとの意見交換の場を設け協会活動の連続性を図る。
- 14) 図面のDX化を目指し、閲覧整理の容易さを図る。（複数年）…200万円
- 15) 一般社団法人として、公益事業ならびに収益事業を推進し、長期にわたり事業継続可能な体制を整備する。

2023年度収支予算書(案)

2023年4月1日から2024年3月31日まで

単位:千円

科 目	予 算 額	2022年予算額	増 減	備 考
I.事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	31,161	31,407	△ 246	
②講習会収入	1,000	1,500	△ 500	
③支承調査収入	0	0	0	
④共同研究事業収入	7,150	8,450	△ 1,300	NEXCO FPS
⑤雑収入	1,700	0	1,700	インテリジェント支承
事業活動収入計	41,011	41,357	△ 346	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	[27,421]	[16,649]	[10,772]	
役員報酬支出	500	500	0	
給与手当支出	2,866	2,868	△ 2	
福利厚生費支出	240	240	0	
退職金給付支出	500	0	500	
調査研究費支出	8,000	0	8,000	ローラー支承機能回復検証
資料購入費支出	450	450	0	
会議費支出	954	580	374	
印刷製本支出	0	0	0	
旅費交通費支出	2,100	1,600	500	
委託費支出	160	0	160	
刊行物発行費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	1,200	1,160	40	
諸会費支出	280	280	0	
その他行事費支出	0	0	0	
講習会開催支出	3,000	2,500	500	
広告費支出	1,379	1,379	0	
支承PR費支出	1,160	1,160	0	
賃借料支出	3,772	3,672	100	
交際費支出	600	0	600	
消耗品費支出	210	210	0	
雑費支出	50	50	0	

単位:千円

科 目	予 算 額	2022年予算額	増 減	備 考
②管理費支出	[12,326]	[16,108]	[△ 3,782]	
役員報酬支出	500	500	0	
給与手当支出	2,866	2,866	0	
福利厚生費支出	618	618	0	
退職金給付支出	500	0	500	
会議費支出	900	590	310	
旅費交通費支出	50	50	0	
委託費支出	160	160	0	
通信運搬費支出	700	592	108	
消耗品費支出	260	260	0	
印刷製本費支出	150	150	0	
総会費支出	800	250	550	
賃借料支出	3,772	8,172	△ 4,400	
租税公課支出	200	200	0	
交際費支出	200	0	200	
減価償却費	50	50	0	
雑費支出	600	1,650	△ 1,050	
事業活動支出計	39,747	32,757	6,990	
事業活動収支差額	1,264	8,600	△ 7,336	
II 投資活動支出の部				
什器備品費支出	0	0	0	
退職給与引当資産取得支出	250	250	0	
III 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	1,514	8,850	△ 7,336	
前期繰越収支差額	26,683	17,833	8,850	
次期繰越収支差額	28,197	26,683	1,514	